

平成29年度「地方創生推進交付金等活用事業」評価結果

(平成30年8月)

○ 地方創生推進交付金等について

地方創生推進交付金等は、地方版総合戦略に位置づけられた、地方公共団体の自主的・主体的な取り組みで、先導的なものを支援する国の制度です。（補助率：事業費の1／2）

地方創生推進交付金等を活用する事業にあっては、ふさわしい具体的な重要業績評価指標（KPI）を設定し、PDCAサイクルによる成果を重視した事業を展開するとともに、事業年度毎に、外部有識者等による効果検証を行い、その結果について公表し、かつ、国へ報告することとされています。

現在、地方創生推進交付金4事業、地方創生拠点整備交付金2事業、合計6事業について、国の認定を受け、交付金対象事業を実施しています。

地域再生計画の名称	事業概要	取組内容	KPI		指標の達成度 (自己評価)	改革改善の方向性 及び課題・解決策	
			目標値	実績等			
【交付金名：地方創生推進交付金】							
創業支援によるまちなか賑わい創出プロジェクト	<p>チャレンジショップ支援事業や、空き店舗活用事業などの事業を推進し、商業者と市民が協働して開催するイベントを支援していくことにより、中心市街地の魅力と賑わいを創出する。</p> <p>市内外からの誘客の強化、地域経済の活性化による経営の安定化と新たな起業家の創出、といった好循環を生み出し、しごとの創生、移住・定住につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 空き店舗活用事業 中心市街地の空き店舗に新たに开店する事業者に対し、改修費や家賃を補助する。 チャレンジショップ支援事業 中心市街地の空き店舗を活用し、新規起業者を支援する拠点を整備しながら、中心市街地の魅力と賑わいを創出する。 	<p>創業者数 (平成29年度)</p> <hr/> <p>5人 (年)</p>	<p>5人 (年)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> おおむね事業目標どおり、中心市街地の空き店舗を活用し、新たに开店した起業者を確保できた。 中心市街地にチャレンジショップを計画どおり整備し、平成30年度から起業を考える段階からの支援を開始する仕組みづくりが構築できた。 地元事業者や商工団体と連携しながら、「真岡木綿ふれあい祭り」や「天の織姫市」等のイベントを定期的実施し、中心市街地の賑わいの創出、地域経済の活性化を図った。 	<p>事業継続</p> <p>引き続き、中心市街地の賑わいづくりと地域経済の活性化に向けて、空き店舗対策等に取組もとともに、チャレンジショップ事業が円滑に運営できるよう、関係機関と連携していく。</p>
【交付金名：地方創生推進交付金】							
まちなかで楽しもう！ 地域資源を活かした まちの賑わい創出事業	<p>中心市街地において、空き店舗を活用し整備するまちかど美術館整備事業や、民間の私設美術館をまちかど美術館として市が認定するまちかど美術館認定事業、観光拠点施設のひとつである久保記念観光文化交流館内の美術品展示施設の運営事業などにより、地域資源を活かした新たなまちの賑わいを創出するとともに、それらを周遊する手段のひとつとして自転車を活用する環境を整備する。</p> <p>これにより、市内外からの誘客強化、地域経済の活性化といった好循環を生み出すとともに、移住・定住の促進につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> まちかど美術館整備事業 空き店舗を活用し、地域の芸術家、芸術愛好家、市民が創作した作品等を展示する。 民間美術館のまちかど美術館認定事業 既存の民営美術館をまちかど美術館として認定する。 自転車ネットワーク事業 生活・観光拠点施設の回遊性を高めるための自転車ネットワークの構築について、アンケートや道路等の調査を実施し、自転車道の整備を推進する。 	<p>観光拠点施設 (観光物産館・S Lキューロク館) 売上高 (平成29年度)</p> <hr/> <p>17,940 千円/年</p>	<p>20,530 千円/年</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道の玄関口である真岡駅から久保記念観光文化交流館を結ぶ中間地点の空き店舗を活用し、市内外の方々が気軽に文化芸術に親しむ拠点としてまちかど美術館を整備し、オープンすることができた。 あわせて、2つの民間美術館をまちかど美術館に認定し、連携しながら文化芸術の振興と、新たなまちの賑わいを創出することができた。 自転車ネットワーク計画を策定し、市内周遊の二次交通手段として自転車の活用を検討した。 市内観光客入込数も順調に伸びており、観光拠点の生産性(売上高)も向上している状況である。 	<p>事業継続</p> <p>まちかど美術館の運営について、愛好家や有識者と連携しながら、魅力ある企画を行い、中心市街地の観光拠点施設との連携・周遊性を高め、誘客の強化を図る。</p> <p>また、自転車ネットワーク計画をもとに、観光拠点施設の自転車による回遊性を高める環境整備をすすめるため、サイクルアンドバスライド等について、民間バス事業者と連携し検討をすすめる。</p>

地域再生計画の名称	事業概要	取組内容	KPI		指標の達成度 (自己評価)	改革改善の方向性 及び課題・解決策
			目標値	実績等		
【交付金名：地方創生推進交付金】						
ツール・ド・とちぎを核とした地方創生推進計画	<p>全国初の取組となる県内全市町を舞台とした国際自転車競技連合公認レース「ツール・ド・とちぎ」の継続的な開催を通じて、県、県内全市町、民間事業者、金融機関等が一体となって「自転車によるまちづくり」を進め、レースコースの地域資源化を図ることにより、産業やスポーツの振興、通年での観光誘客の促進、中山間地域の振興、若者の郷土愛の醸成と定住促進、農林業の振興等の施策を波及的に進めていくもの。</p>	<p>「ツール・ド・とちぎ」の開催にあたり、県内の観光名所等をレースコースに盛り込み、さらには発着地点等において地元のまちづくり団体等によるおもてなしブースを設置するなど、国内外から訪れる来場者に本県の魅力を満喫してもらえる仕組みを構築する。</p> <p>また、サイクリストを中心とした通年での観光誘客並びに交流人口の拡大、農産物の6次産業化による農林業の振興、大会へのボランティア参加を通じた若者の郷土愛の醸成並びに定住の促進等につなげる。</p>	<p>公営レンタサイクル利用者数 (平成29年度)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・真岡駅、久保記念観光文化交流館において、レンタサイクルを実施しているが、目標を上回る実績となっている。 ・第2回大会の最終ゴール地点である井頭公園において、「もおか“いちご”ブース」を設け、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催し、大盛況に実施することができた。 ・観光消費額の増大にもつながるイベントであり、観光拠点施設の売上高の増加にも寄与できた。 	<p>事業継続</p> <p>大会運営者であるNPO法人ツール・ド・とちぎの会や栃木県と連携を図りながら、第3回大会の準備を進めていく。</p> <p>また、意欲のある事業者ともタイアップしながら真岡市のPR、地域の活性化等につなげていく。</p>
【交付金名：地方創生拠点整備交付金】						
SLの走るまち拠点施設 SLキューロク館整備事業	<p>SLキューロク館敷地内において、静態展示している人気のD51型SLを既存の9600型SLと並走させるための軌道を敷設することにより、「SLの走るまち」真岡の価値を高め、まちなか誘客の拠点としての機能を強化する。</p> <p>また、地方創生推進交付金で中心市街地に整備した「チャレンジショップ」や「まちなか美術館」と連携するとともに、自転車利用環境の整備等により周遊性を向上させることで、中心市街地への滞在時間を延ばし、まちなかの消費拡大につなげ、まちなかの賑わいを創出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・軌道整備及び舗装工事 D51型SLを動態保存するための軌道整備と舗装工事を実施する。 ・D51型SL動態整備 D51型SLが圧縮空気ですり自走できるよう整備する。 	<p>観光拠点施設 (観光物産館・SLキューロク館) 売上高 (平成29年度)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標どおり、平成29年度にD51型SLが自走できる環境整備が実施できた。 ・市内観光客入込数も順調に伸びており、観光拠点の生産性(売上高)も向上している状況である。 	<p>事業継続</p> <p>デスティネーションキャンペーンの真岡市オープニングイベントにおいて、D51型SLの自走を開始し、イベントの目玉として多くの集客を集めた。</p> <p>今後も、観光拠点との連携を図りながら、誘客の強化と地域経済の活性化等につなげていく。</p>

施設整備計画の名称	事業概要	取組内容	KPI		指標の達成度 (自己評価)	改革改善の方向性 及び課題・解決策
			目標値	実績等		
【交付金名：地方創生推進交付金】						
「全国いちごサミット」を核とした儲かる農業推進プロジェクト	国内初の取組となる全国のいちご主要産地が一堂に会する「全国いちごサミット in 真岡」を開催し、これを契機として、本市をはじめ栃木県や県内全市町が連携した「いちご王国」づくりを更に深め、地域ブランド力の強化、高付加価値や販売単価向上に向けた6次産業化、新たなビジネスモデルの構築、国内外の新たな販路拡大に向けた農家所得向上の儲かる農業の仕組みづくりにつなげ、地域経済の活性化を図ること、新たなしごと創出、若い世代の移住・定住の促進、人口流出の抑制に繋げていくもの。	「全国いちごサミット」においては、新たなビジネスモデル構築、ビジネスマッチング、海外輸出に向けた販路拡大、農家所得向上等のためのビジネスサミットと、消費拡大やブランド力向上等のための消費者向けイベントサミットを開催する。 また、サミット開催機運を高めていくため、関係機関や地域と行政が一体となった「プレ・イベント」等いちごに関するPRイベントを広く、かつ継続的に実施し、主要産地との交流を進め、サミット開催の裾野を広げる活動を展開する。			平成30年度実施	
【交付金名：地方創生拠点整備交付金】						
地場産業の生産性向上に資する真岡木綿会館及び観光物産館再整備事業	真岡駅から中心市街地の商店街への徒歩圏内の動線上に位置し、伝統産業の展示機能等を有する「真岡木綿会館」及び特産品等を販売する「観光物産館」に滞在・滞留できるオープンスペースを増築する。 更に、観光客等の滞在時間の延伸と、民間美術館、SLキューログ館や中心商店街の回遊性を促進する商店街イベント等との連携を図り、観光消費額の増加を図ることに加え、商工会議所、商工会や中小事業者と特産品等を生かした新商品の開発や販売を進めながら、官民協働で中心市街地の商店街全体の稼働率及び客単価等を向上させ、地場の中小事業者等や観光業の所得向上につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> 真岡木綿会館再整備工事 既存の真岡木綿会館に、木綿製品の販売スペース（ショップ）を増築する。 また、ショップに併設したウッドテラスを増築し、「もめん茶屋」や木綿会館の滞留スペースを整備する。 観光物産館再整備工事 既存の観光物産館に、ウッドデッキ（カフェスペース）を増築する。 また、若い世代が参集しやすいカフェや景観整備を図り、中心市街地の賑わいを創出する。 			平成30年度実施	